

No.	問題点		対策種類	CTQ
1	人的問題による納期遅れ	独自性の高い精密加工技術に対する顧客からの要求期待事項に対して、主に受注時に発生する人的生産能力(人員数/スキル)に関わるリスク評価の仕組みを構築する。	仕組み構築	納期遅れの解消 計画の人員確保
2	社内開発案件における手戻り発生/リリース後の事故発生	システム開発における納期遅れ、コストオーバー、品質事故を減少させるために、開発プロセスを整備し、パフォーマンス評価に関わる指標策定、ゲート管理体制の構築などの管理体系を構築する。	仕組み構築	手戻り削減 リリース後の事故削減
3	内部監査の成果不足	内部監査の実効性を高めて、被監査部門の改善機会につながる有意義なアウトプットを提供する為に改善能力を含む監査員の力量開発プログラムを構築する。	力量開発	内部監査を通じた部門改善活動の促進
4	内部監査員のモチベーション向上	内部監査員の社内評価を向上させることを目的として、コスト削減やESG評価への寄与など内部監査活動の成果を社内共有する仕組みを提供し、内部監査員の力量開発に対するモチベーションを高める施策を実行する。	モチベーション向上	内部監査成果(CO2削減/リサイクル率向上/ 財務効果/ESG評価向上等)の促進
5	監査内容の改善	内部監査において有効な発見点(監査所見)の件数を増やす為に、監査計画の実施法の見直しや、有効な所見の基準や件数目標の設定など内部監査管理 管理体系の構築を実施する。	仕組み構築	改善機会の増加
6	顧客満足向上	VOC(顧客の声)がフィードバックされる仕組みが十分に機能していない状況を改善し、顧客不満足を解消するための組織的改善活動を促進させる仕組みを構築する。	仕組み構築	戦略目標達成 顧客満足度向上
7	研修理解度改善	内部監査員に実施する研修コースに対する理解度を把握し、研修コースの有効性を評価し、コース内容を改善させる仕組みを構築する。	仕組み構築	教育成果の向上
8	内部監査改善	被監査部門を顧客と捉え、VOCを内部監査に反省する仕組みを構築し、内部監査を通じて部門に有効な機会を提供する仕組みを構築する。	力量開発	内部監査の実行性向上
9	セキュリティ事故再発防止	内部監査で特定されたセキュリティ事故に関連するリスクを部門横断的に共有し、類似した問題の再発を組織的に防止する仕組みを構築する。	仕組み構築	リスク共有 予防措置の組織的実行
10	受電率改善	VOC(顧客の声)の収集を重要な組織活動と捉え、受電によるVOCの収集活動を強化するために仕組みの改善及び、状況管理を徹底させる。	仕組み構築	VOC収集強化
11	LSS&リスク分析活動の連携促進	部門ごとに実施されるリスク分析活動で特定されたリスクが、全社で導入されているLSSによる改善活動と適切に連携しているかどうかを可視化するしくみを導入し、	仕組み構築	特定されたリスクを対象とした改善活動の促進